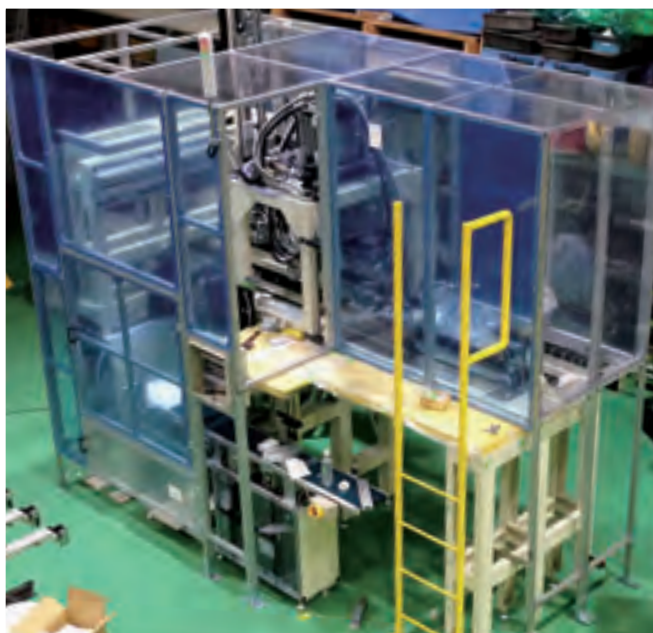


顧客の課題を解決する オーダーメイド自動機を製作

- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンライン技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット



モーター部品解体分別処理機

業務内容
設計から製作、調整まで一貫して請負

産業機械や省力化機械を設計から部品加工、組立、電気配線、試運転調整まで一貫して請け負う。業界を問わず、生産工程の自動化や効率化を検討する幅広い顧客のニーズに対応する。特に最近の設備は製品のライフサイクルが短くなっているのに伴い、多品種少量生産のニーズが多い。このため一般的な専用機やロボットでは対応が難しいことが多く、一品一様の製作で顧客と相談しながら困難な課題を解決する事業の価値が高まっている。製作する設備は組立機、検査機、搬送機、プレスや治具類などバラエティーに富んでいる。



建築金物用自動搬送プレス機

強み 新規顧客からのリピート注文も相次ぐ

液晶・半導体製造設備製造はピーク時に70%を占めたが、装置の大型化が進んだことや海外シフトに伴って、平成20年頃から新規分野の開拓に舵を切った。新規の取引先にはウェブサイトも大きく貢献している。全国各地から「こんなものができないか」という相談が寄せられると、設計担当者が丁寧に対応し、顧客が困っている課題の解決にあたる。設計から組立、納入後の細かい調整まで一貫して行うことで、顧客の信頼を獲得しており、鈴木稔也社長は「ウェブサイトを通じ

た新規顧客からリピート注文をいただくことも多い」と胸を張る。

人材育成 風通しの良い社風で密な情報交換進む

設計3名、組立2名の体制で仕事を進めている。顧客との打ち合わせにあたる設計は解決したい課題や予算を聞きながら装置の仕様を決め図面を書き上げていく。納入まで責任を持つ必要があるため、組立担当者との情報交換も欠かせない。設計を担当する塩坂耕一氏は「職場の先輩、同僚と話をしやすい風通しの良さが自分の成長につながっている」と話す。常に新しい課題に直面する仕事だけに、経験を重ねることが財産になるが、他の社員との密な情報交換やときには指導を受けることで、顧客に提供できる知識の引き出しを増やしている。

今後の展望 技術生かしてオリジナル製品も製作も

鈴木社長は自社の課題として「要望があれば何でもできる自信があるが、ずば抜けてこれといったものがない」ことを挙げる。省力化機械製造という仕事の性格上やむを得ないが、「せっかく蓄えた技術を生かす道はないか」を考えている。やる気のある従業員も集まっていることから、さらに勉強してオリジナル製品の開発を行う夢も抱く。ただオーダーメイドの自動機をつくる仕事をおろそかにする気持ちは毛頭ない。今後も「生産効率の良い自動機の注文はなくなることはない」と断言し、技術向上のためにもあらゆる注文に応じる姿勢だ。

COMPANY PROFILE

株式会社エコー工業

大阪 27

当社の歴史

開業時は casting 設備機器を中心としていましたが、塗装ラインなど大型設備へと業務内容を拡大、平成以降は液晶テレビや半導体製造設備の製造も手がけました。ここ10年は液晶、半導体設備の需要減少に伴い、業界を問わず自動化や効率化を検討される幅広いお客様のニーズに対応しています。

打ち合わせで設備の構想を決定し、設計、部品加工、組立、試運転調整を経て平均3、4ヵ月で製作します。

代表取締役 鈴木 稔也 さん



■主な事業内容
産業機械製造・設置

■主な取引先(納入先)
建築物、押し出し成形、ブロー成形、リサイクル、食品・包装、液晶・半導体、自動車部品メーカーなど

住所 / 〒574-0045
大東市太子田
3-2-45

TEL / 072-871-8121
FAX / 072-875-0539
創業 / 昭和46年4月
設立 / 昭和50年9月
資本金 / 1,000万円
従業員 / 5名

<http://www.echo-ltd.jp>